

平成 28 年度 関西広域応援訓練（実動訓練）の実施結果について

1 訓練目的

平成 28 年 8 月の「関西圏域における緊急物資円滑供給システムの構築について（報告）」に基づき、府県（奈良県）の物流専門組織が行う 1 次物資拠点における倉庫協会、トラック協会との連携、円滑な広域支援物資の受け入れと物資保管および市町の 2 次物資拠点への輸送の流れを確認する。

2 訓練実施日時

平成 28 年 10 月 23 日（日）9 時 00 分～12 時 30 分
（奈良県近畿府県合同防災訓練と同日開催）

3 訓練想定

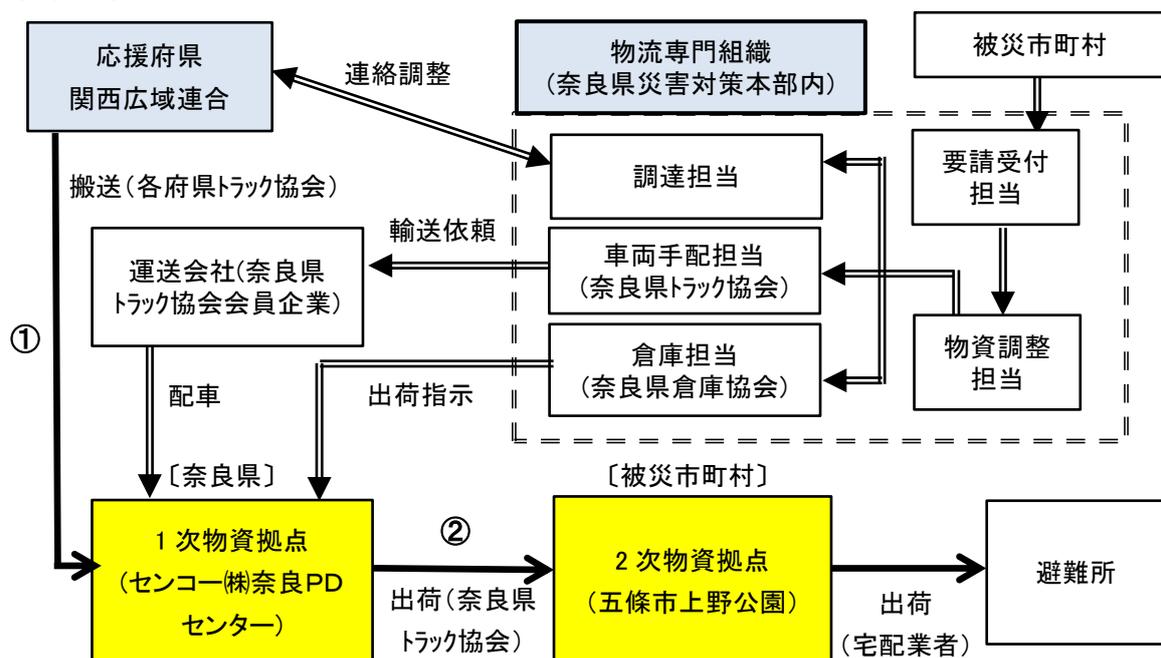
平成 28 年 10 月 23 日午前 7:00 頃、奈良県南部を震源とする最大震度 6 強の地震が発生。地震発生と同時に五條市全域において、甚大な被害が発生した。

このため、奈良県及び五條市は災害対策本部を設置し、その対策にあたるとともに、物流専門組織を設置し、指定避難所に避難した住民への救援物資の支援を関西広域連合に要請した。

4 場所及び訓練内容

- (1) 場所：センコー（株）奈良 PD センター（大和郡山市）、上野公園（五條市）
 (2) 内容：① 応援府県トラック協会のトラックが、救援物資を奈良県の 1 次物資拠点のセンコー（株）奈良 PD センターまで搬送。
 ② 1 次物資拠点で支援物資を被災地ごとに仕分けし、奈良県トラック協会が、五條市の 2 次物資拠点の上野公園まで搬送。

〔訓練の体制図〕



4 参加機関・人数（約 60 名）

関西広域連合構成団体・連携県、五條市、滋賀県トラック協会、京都府トラック協会、大阪府トラック協会、兵庫県トラック協会、和歌山県トラック協会、奈良県トラック協会、奈良県倉庫協会、センコー(株)奈良PDセンター、九都県市

5 訓練結果

物資円滑供給システムに係る物流専門組織の基本的機能と担当業務を整理したチェックリストを活用することで、具体的な担当業務や応援側との連携の確認と、進捗状況の管理といった運用面での検証をすることができた。

その結果、帳票様式の一部見直しや、各担当業務量の差異による人員配分の考慮の必要性等が明らかになった。

今後、こうした課題をワークショップや図上訓練を通じて改善し、より円滑な物資供給システムの構築につなげていくこととした。



(応援府県からの物資搬送トラックが到着)



(奈良県物流専門組織における物資調整訓練)



(奈良県物流専門組織における物資調整訓練)



(1次物資拠点:センコー(株)奈良PDセンター)



(奈良県トラック協会による五條市への物資搬送)



(2次物資拠点:五條市上野公園)